令和４年１月５日発行　毎月１回５日発行　オイスカ通信 695 号　昭和 42 年 12 月 27 日　第三種郵便物認可　別紙

公益財団法人 オイスカ

FURUSATO！ １月号

～オイスカ四国のふるさとづくり～

新年の挨拶

四国支部　会長　泉　雅文

新年明けましておめでとうございます。皆様方におかれましては輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、一昨年から続く新型コロナウイルス感染症の影響により、各種行事が思うように開催できない状況が続いていましたが、10月以降、新規感染者が減少に転じ、少しずつ明るい兆しが見えつつあるように思います。

オイスカは、2021年10月６日に創立60周年を迎えました。オイスカ本部では、創立60周年を記念して国際シンポジウムを開催し、次期10カ年の計画を発表しました。その中で、これまで以上に力を入れていくこととして、政府や他団体の取り組みのモデルとなる緑化事業の推進、人材育成分野では技能実習生の受け入れを増やす計画が示されました。

四国研修センターにおいてもこの方針に基づいた10カ年計画を策定し、更なる活動の展開に取り組んでいくこととしています。

新型コロナウイルス変異株の動向が気になるところではありますが、新たな研修生が着任した際には、感染予防を徹底しつつ、各種行事や地域との交流活動などを再開して参ります。研修センターを含めた様々な活動は、会員の皆様のご支援によって支えられています。この活動を支えるためには、一層の会員拡大が重要です。これまで以上に皆様のお力添えをお願いするとともに、引き続きご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げまして、年頭のご挨拶をいたします。

四国研修センター　所長　小野　隆

謹んで新春をお祝い申し上げます。

会員の皆様には、幸多き新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。旧年中は、四国研修センター（以下、センター）の事業全般にわたり大変お世話になり、誠にありがとうございました。本年もよろしくご支援、ご協力をいただけますよう、お願い申し上げます。

さて、昨年はオイスカ創立60周年でセンターも綾川町に移転して40年が経過した記念すべき節目の年でしたが、新型コロナの感染拡大により研修生や技能実習生の予定者が、ほとんど来日出来ませんでした。

本年は、昨年の２月入所予定だった研修生６名が１月下旬に、本年の研修生が２月に３名、計９名がセンターに入所する予定で進めていますが、オミクロン株等の変異株の発生により時期が遅れる可能性があります。

また、技能実習生についても早くセンターへ入所させ、基礎訓練後、速やかに配属できるよう引き続き努力をしていきたいと思いますが、とにかく新型コロナが早く収束して、例年のようにスムーズに研修が実施出来るよう祈るばかりです。

最後になりましたが、本年は会員の皆様や支援いただいている方々といろいろな交流が出来るよう職員一同、一生懸命努力をいたしますので、引き続きご支援のほどよろしくお願いいたします。

新規会員さんとご対面

12月11日（土）、令和３年10月にオイスカの法人会員になっていただいた広島県福山市の特定非営利活動法人　備後クラブ（以下「クラブ」）の弓手　博理事長他19名のみなさんが、四国研修センターに研修のため来所されました。

このクラブは、文化的交流の支援や音楽活動・スポーツ活動を通じて、国境を越えた友好関係を築く大きな助けとなることに寄与するために令和３年４月に設立された法人です。

クラブのみなさんは、オイスカとフィジー研修センターに関心があり、今回、四国研修センターを訪問して、オイスカの活動や徳島県の鳴門教育大学大学院に留学しているフィジーの青年男女２人から、フィジー共和国の概要について説明を受けるなど熱心に研修をされました。（小野）

年末の清掃活動①　～冠纓神社～

12月17日（金）に冠纓神社の掃除を職員５名で行いました。オイスカ四国研修センターは、1968年３月28日に冠纓神社境内にて開所し、1681年に現在の綾川町に移転しました。開所時の恩返しも兼ねて、毎年、境内の掃除を行なっています。

当日は、境内の片隅にある鳥居の柱の修復や新たな柱となる木材の研磨、年末年始用のしめ縄の飾り付けなどを行いました。

神社が綺麗になると心も清らかになり、足を運んでくださる参拝者の方々も心地良く感じてもらえます。皆さんも年末年始、冠纓神社に足を運んでみてはいかがでしょうか。（山崎）

神社の隅々まで掃除をすることが出来ました。これからの神社参拝が楽しみです。

年末の清掃活動②　～綾川駅～

12月５日（日）に綾川町男女共同参画会議主催の清掃活動に参加しました。今回は綾川駅周辺の掃除をしました。ゴミはあまりなかったので、落ち葉なども拾いました。１時間30分ほどの作業でしたが、皆さんで協力したのですっきりとした駅になりました。

何気なく使っている綾川駅ですが、きれいに保たれているのは誰かが掃除をしてくれているからです。そのありがたみを感じることが出来ました。

地域活性化の取り組みとしてこのような活動は、研修生にとっても素晴らしい勉強になると思います。昨年は日本に来れなかった研修生ですが、今年こそは一緒に参加したいです。（金澤）

この日はゴミ袋６袋分のゴミ等を拾いました。（紙ゴミ他　１袋、落ち葉、雑草　５袋）
駅を利用する人が少しでも気づいてくれたら嬉しいです。

OISCA × VALUE BOOKS

「FURUSATO！」１月号　発行
公益財団法人　オイスカ四国研修センター
〒761-2103　香川県綾歌郡綾川町陶 5179-1
TEL　087-876-3333　FAX　087-876-3334
E-mail; oiscastc@oisca.org

古本で！
「子供の森」計画サポートプロジェクト

研修生 OG　～フィジーからこんにちは～

白ネギ以外にも子供たちと植える木の管理もしています。私は元気にやっています！
コロナが治まったらぜひフィジーに遊びに来てください！

次号も研修生 OB・OG を特集します。お楽しみに！

ポット苗の白ネギの管理をしているメレ。

みなさんお久しぶりです。2020年の地域開発研修生のメレです。私は去年の8月19日にようやく帰国することが出来ました。18カ月ぶりに家族に再会できてとてもうれしかったです。その後、オイスカフィジー研修センターでボランティアをして、現在は「こどもの森計画」に参加している保育園で働きながら、自分の帰国後の計画でもある「白ネギの栽培」を園内で始めていますが、いろいろな問題に直面しています。ネギの苗が弱く植付けの時に倒れてしまうので、最初にポットに植えて苗を強くしてから移植をすることにしました。今フィジーは雨季なので、明けてから移植する予定です。今のところネギは元気に育っています。

仕事が終わってから、オンラインで日本語の授業を行っています。ひらがな、カタカナ、自己紹介の仕方や、今年日本で研修をする人たちには、いろいろな言葉や、文法などを教えています。時々教えることの難しさを痛感しています。でもそんなときは、日本にいる間にいつも思っていた「あきらめない」気持ちを持って頑張っています。今後も大変なことが起こると思いますが、あきらめないで精進していきます。

オイスカ会員の皆様、研修センターの先生方、今年も良い年をお過ごしください。

「山・林・SUN」植林ボランティア

11月21日（日）に「山・林・SUN」植林ボランティア活動を行いました。今年もコロナ禍での開催となりましたが、50名を募集したところ、73名のボランティアが集まりました。また、今年度は（公財）香川県環境保全公社の助成を活かした活動になり、手作り看板を参加者全員の名前を自分で書き入れて、現地に設置しました。ボランティア活動も今回で26回目になりケガもなく無事終えることが出来ました。この活動は、ヤマザクラの周辺の下草刈りやツルなどを取り除くなど、植林事業では欠かせない作業の一つでもあります。

来年の春は、「ＯＨＡＮＡＭＩ森の音楽会」として初めてお花見会を開催する予定です。大事にしてきた植林地で、音楽を聴きながらお花見をしたいと思います。それに合わせて、オイスカ四国研修センターでも実施している、「循環型経済（原材料を使って廃棄物を出さないサイクル）」の啓発活動として、自然エネルギーを利用した舞台運営などを計画しています。来年の春がとても待ち遠しいです。

また、「オイスカ憩いの森」がグーグルマップでも、検索可能になりました。

（四国支部　チェ）

2022年の抱負！今年も頑張ります！

私は芋が大好きなので、芋類の植え付けから収穫、販売、加工までの一連の管理技術を身につけたいです。貯蔵期間が長く、販売収益に繋げやすい芋類。

研修生の国でも有効的に活用できる技術を身につけ研修生に教えられるように精進します！！

（研修課　山崎）

今年は新しくお借りする農地もあり、農業生産の拡大に取り組みます。ただ拡大するわけではなく、時期や数量の適切な作付けを計画し、出荷まで無駄のない、より効率的な生産を行うことで、研修生にも実践的な農業を身につけてもらいます。農産物を生かした加工品もまた新しく開発し、研修内容を充実させます。

（副所長　安部）

昨年よりもスムーズに仕事を進められるように、農業技術・日本語力を更に磨いていきます。

コロナウィルスが治まって、マレーシアにいる家族と日本で一緒に生活したいです。（研修課　ビアン）

ストレスをため込まず、みんなと協力をして良い職場の雰囲気を作れるようにしたいです。

暑さ寒さに負けず、健康に気を付けながら、農作業をしていきます。（研修課　デニス）

新型コロナウィルスの速やかな収束を願っています。また、研修生や技能実習生が速やかに四国研修センターに入所し、研修がスムーズに受けられるように職員一同、万全の体制で準備をしたいと思います。（所長　小野）

総務担当としてセンター内の倉庫や書類の整理整頓を行い、誰でも仕事のしやすいセンターにします。

会計面では、スタッフの生産収入のモチベーションが上がるよう「収支の見える化」を計り、「黒字」を目指してみんなで協力できるように頑張ります！

（総務主任　吉田）

健康第一！昨年は皆さんに助けてもらった年だったので今年は、助けていただいた分、それ以上の手助けができたらいいです。

研修生がいつ来るかわからないですが、わかりやすい研修ができるように研修内容を復習し、それに加えて新しい知識を身につけます。（研修課　金澤）

2月には古希を迎えます。今もなお研修に携われる事に感謝しながら今だから出来る事、この年になったから伝えられる事を考えながら進めて行きたいと思います。私自信の体の声もしっかりと聞きながら頑張ります。

（総務課　菅原）